



中央区環境情報誌

中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>



環境情報センターに行こう!

『もりもりフェスティバル 2016』を開催します

7月24日(日)～31日(日)まで、環境情報センターで、「もりもりフェスティバル2016」を開催します。このイベントは、「中央区の森」や森林保全などについて、皆さんに知っていただくために開催しています。

期間中はワークショップや子ども向け講座など、楽しい企画をご用意してお待ちしています。ぜひ夏休みの思い出作りに、この夏は環境情報センターへ遊びに来ませんか？



『中央エコキッズ』メンバー大募集中!!

環境情報センターでは、区内在住・在学の小学生を対象とした環境活動のクラブ「中央エコキッズ」のメンバーを募集しています。

生きもの調査や間伐材を使った工作、自然観察などのさまざまな活動を通して、子どもたちが楽しみながら環境について自ら考え、行動することができるよう、サポートしています。キッズの皆さん、一緒に地域で身近にできる環境活動に取り組んでみませんか？

【登録にあたって】
○区内在住・在学の小学生が対象です。
○申込書に必要事項を記入してお申し込みください。

【参加費】
○無料(講座内容によっては入場料など実費がかかる場合があります。)
○その他
○各講座やイベントに参加するには事前申し込みが必要です。
○対象の講座やイベントに参加すると会員証にスタンプを押します。スタンプを10個集めると素敵な記念品がもらえます。

環境活動登録団体 環境活動発表会

2月11日(木)、環境情報センターの環境活動登録団体の方々が集まり、環境に関する各団体の取り組みについての発表会が行われました。

当日は、15団体が参加し、全体会では一般社団法人トウヨウミツバチ協会、プラステックみらい研究会、成熟都市とオオカミ・研究会、中央区環境保全ネットワークの4団体がそれぞれの事例を発表しました。



環境活動登録団体の紹介

トウヨウミツバチ協会
代表者 高安和夫
平成27年4月1日に日本在来種みつばち協会から名称変更して発足し、正会員約20人、ネットワーカー会員約2000人で活動しています。

養蜂技術の研究と普及を活動趣旨とし、全国の日本ミツバチ愛好家や団体とのネットワークを通じて、各地のミツバチ情報などを発信しています。また、現在力を入れているのが、女性を対象とした養蜂具の開発事業です。「ご家庭の庭先でも日本ミツバチを飼っていただけます」と高安代表。



SUMMER 7～8月の講座・イベント情報

日時	タイトル	内容	講師	対象	申込期間
7月24日(日)～7月31日(日) (最終日は15:00まで)	もりもりフェスティバル2016 ～森を知ろう! 森を守ろう!～	期間中、センターを開放し、森林保全に関する展示や日替わりワークショップを行います。自由研究におすすめです。	—	どなたでも	—
7月26日(火)	リサイクル木材で本棚をつくらう	使われなくなった木は、紙や板や発電燃料などに生まれ変わります。その仕組みを学び、リサイクル木材で本棚をつくってみましょう。	NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会	小学生とその保護者15組<抽選>	7月11日(月)～7月18日(祝)
7月29日(金)	森林教室	東京都の森林・林業・生物多様性や「中央区の森」についての講座のほか、木製モビールづくりを行います。	林業普及指導協力員	小学生とその保護者15組<抽選>	7月11日(月)～7月25日(月)
7月30日(土)	みんな大好き★カレーでエコを考えよう!	カードゲーム「おいしいオリジナルカレーをつくらう!」を使って、食を取り巻く環境問題について楽しく学びます。	(公財)日本環境協会	小学生とその保護者15組<抽選>	7月11日(月)～7月25日(月)
8月2日(火)	電気のフシギ体験教室	電気の専門家による電気の正しい知識と使い方について学び、モーターの仕組みが見えるクリップモーター(キット)を作成します。	(株)東京電力 関東電気保安協会	小学生30人<抽選> [3年生以下は保護者同伴]	7月11日(月)～7月25日(月)
8月6日(土)	セミの羽化を観察しよう!	夜の日比谷公園でセミの羽化を見学します。夜行性の生き物を取り巻く生態系などについて学び、都市の中の自然環境について考えます。	自然観察指導員	小学生とその保護者15組<抽選>	7月11日(月)～8月1日(月)
8月26日(金)	エコ寺子屋 ～エコビルの秘密を探る!～	環境情報センターがある東京スクエアガーデンのエコな取り組みについてビルの裏側を見学して学び、壁新聞を作成します。	京橋環境ステーション	小学生30人<抽選> [中央エコキッズ優先]	7月11日(月)～8月15日(月)
7月9日(土)～7月22日(金)	パネル展『エネルギー見える化』	消費電力が増える夏季に省エネの方法や中央区の取り組みについてパネルで紹介いたします。	—	どなたでも	—
8月1日(月)～8月31日(水)	パネル展『檜原村紹介展』	「中央区の森」がある檜原村の自然や文化を写真やパネルで紹介いたします。	—	どなたでも	—

*各種講座・イベントは電話またはホームページからお申し込み下さい。

●問い合わせ先 環境情報センター ☎(6225) 2433 ホームページアドレス <http://eic-chuo.jp/>

歩きたばこ・ポイ捨て禁止です。路上喫煙はやめましょう。

「中央区歩きたばこ及びポイ捨てをなくす条例」

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

遮熱性舗装の整備

●遮熱性舗装の仕組み
遮熱性舗装とは、特殊な塗料をアスファルトに塗布し、道路の路面温度を低減させる舗装です。その塗料には太陽の日差しを反射させる反射材や特殊な顔料が含まれてい



ます。遮熱性舗装を施し日差しを跳ね返すことで、アスファルト内の蓄熱を少なくすることができ、これにより日中の路面温度上昇を抑えるとともに、蓄熱の低減による熱帯夜の防止効果も期待できます。現在区では、真夏の都市環境の改善を目指して、路面温度の低減効果が大きい広幅員道路を対象に、遮熱性舗装の整備を進めています。

【参考】

- 清杉通り
- 清洲橋通り
- 人形町通り
- 鍛冶橋通り(一部)
- 八重洲通り(一部)



●路面温度表示板を設置して
区では平成22年度より、浜町公園入り口(清洲橋通り沿い)に路面温度表示板を設置して、遮熱性舗装と通常の舗装との温度差をリアルタイムで表示しています。これに続き、平成27年度に久安橋付近(八重洲通り沿い)にも設置を行いました。遮熱性舗装の効果を直接見比べることができるので、ぜひご覧ください。

また、区のホームページでは、当表示板用の温度測定用紙を公開しています。路面温度の変化を観察して、夏休みの自由研究などに活用ください。



●問い合わせ先
道路課 まちなみ整備係
☎(3546)5426

中央エコアクト(家庭用)参加者募集中

無理のない範囲で取り組んで、中央エコアクト認証を取得しました!!

●電気のコトを「減らす」ことから!

Nさんは、平成27年5月31日に開催された第12回エコまつりの会場で中央区のスタッフに声を掛けられ、中央エコアクトに参加しました。元々、好奇心の旺盛なNさんは「どんなものか興味を持った」とおっしゃいます。東日本大震災後に節電を心掛けた時期もあり、今回改めて節電について考えるきっかけとなりました。

会場で申請したNさんは、早速6月から約一カ月間、電気、水道、ガスの省エネに取り組まれました。事前に決めた省エネの取組項目を実践し、毎日デイリーチェック表に記録をつけていきました。

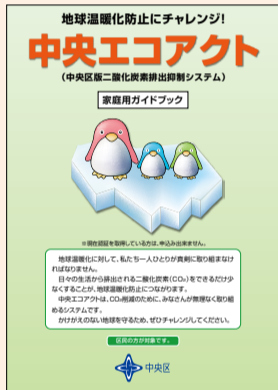
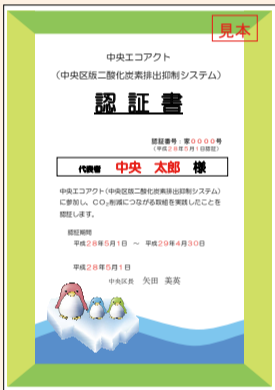
「中央エコアクトを始めてから、照明は、夜つけるものだという気持ちになって、昼間つけっぱなしだった場所も小まめに消すようになりました。電子レンジは特に電気使用量が大きいと聞いていますので使用後はコンセントからプラグを抜いたり、一日中回しっぱなしだった換気扇も、気が付くと消しているようになっていました(笑)」

●取り組み後の気持ちの「変化」

一カ月間の取り組みで省エネやエコについて考えることが多くなったといえます。

「少量の湯を沸かすときは電子レンジとガスのどちらが省エネになるかなど考えたり、アイロンを長時間使わないようにするには洗濯物の干し方をどう工夫しようかと、中央エコアクトを通じて、無駄を省きたいという気持ちが強くなりました。それに、夜でも照明の明るさを落としてみると、スムーズに眠れるような気もするんです」とNさん。

●問い合わせ先
環境推進課 温暖化対策推進係
☎(3546)5406



そうした一カ月間の取り組みの成果は、前年同期の使用量と比較して、電気使用量は15パーセントの削減、ガス使用量は32パーセントの削減。平成27年7月30日に中央エコアクト認証書を受け取りました。「とにかく消しまくっていた」という電気はもちろんです、あまり意識していなかったガスの削減率にも改めてびっくり。気が付かないうちにガスも節約できていました。

「スタッフの方に声を掛けていただけなかつたら省エネへの意識は芽生えなかつたと思います。取り組んで本当によかつたと思っっています」とNさん。取り組みのこつは「無理にやらないこと。できる範囲で取り組むことが大切だと思います。あまり思い詰めるとストレスになっちゃいますので、中央エコアクトに取り組むこつを笑顔で話していただきました。」

中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画を改定しました

平成27年12月に、フランスで開催されたCOP21(国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)では、地球の平均気温の上昇を産業革命前に比べ2度未満に抑えることを目標とするパリ協定が採択されました。わが国では、高い省エネ技術などを背景に国際社会を牽引する立場から、再生可能エネルギー活用に向けた検討など、さまざまな地球温暖化対策への取り組みがなされています。

中央区役所においても、大規模事業者として環境配慮行動を積極的に実行していく責務を有しており、率先して温室効果ガスの排出削減を図っていくことが不可欠です。平成23年10月に構築した区独自の中央区環境マネジメントシステムをはじめとして、平成27年4月には「中央区施設管理マニュアル」の策定など環境施策の充実を図るとともに、これらの取り組みを推進させているところです。

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、区の事務事業に係る温室効果ガスの排出抑制などの措置に関する「実行計画」であり、平成23年3月に改定した「中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画」を改めたものです。

この計画では、平成32年度までに区施設の床面積1㎡当たりから排出される温室効果ガス排出量を平成26年度比で5パーセント削減することを目標に、区の全ての組織および施設における事務事業において①エコオフィス活動の推進②設備などの適正管理③施設改修・設備更新の観点から取り組みを推進していきます。本計画は区のホームページに掲載しています。

●問い合わせ先
環境推進課 温暖化対策推進係
☎(3546)5406

コミュニティサイクルをご利用ください

平成27年10月から実施している「中央区コミュニティサイクル事業実証実験」は、自転車の貸出・返却のできるサイクルポートを18カ所から33カ所へと増やし、本年2月からは、千代田区、港区および江東区と相互乗入実験を実施しています。中央区で借りた自転車を、隣接3区がそれぞれ設置したサイクルポートに返却できるなど、4区内に設置された157カ所(6月10日現在)のサイクルポートで自転車の貸出・返却ができます。ぜひご利用ください。

【利用方法】
中央区で利用登録を行ってください。なお、いずれか一つの区で利用登録をしていれば、4区内全てのサイクルポートが利用できます。
利用登録、中央区および隣接3区のサイクルポート設置場所、利用可能時間帯などの詳細は、専用ホームページでご確認ください。

【利用時間帯】
原則24時間利用可能
【料金】
別表のとおり

利用料金		基本料金(税抜)	延長料金(税抜)
個人(会員)	月額会員	2,000円/月	最初の30分:無料 以後30分ごと:100円
	1回会員	150円/最初の30分	以後30分ごと:100円
個人(観光)	1日パス	1,500円/日	なし
	法人	法人月額会員 法人定額会員	2,000円/月 4,000円/月



●問い合わせ先
中央区コミュニティサイクル運営事務局
☎0120(04)3196
ホームページアドレス
<http://docomo-cycle.jp/chuo/>

『第13回「エコまつり」』が開催されました！

6月5日(日)、あかつき公園と中央区保健所で「知ろう！やろう！私たちにできるエコ」をテーマに『第13回エコまつり』が開催されました。リサイクル、ごみの減量、自然保護、省エネルギーなど、さまざまな環境問題をクイズや体験を通して楽しく学べる環境イベントです。



当日は前夜からの雨が残り、あかつき公園でのフリーマーケット開催が危ぶまれましたが、開催時間の午前10時には雨が上がり、午後には強い日差しが注ぐ汗ばむような一日となりました。

フリーマーケットは雨の影響もあつて70店舗の申し込みに対して45店舗の出店となりましたが、各店舗は例年通りの人だかりでにぎわいました。出店した女性は「楽しみにしていたので雨が心配でしたが、開催できてほっとしました」と喜んでいました。



公園内では、多くの団体や企業が出展しました。中央区の森コーナーで行われた「丸太切り体験」は、子どもたちが直径10cmほどのヒノキなどをのこぎりで切りかきながら切り終えた子



どもたちは自分で切った丸太をもらって大喜び。日頃できない体験に閉会時間が近づいても順番待ちが並ぶほどの大盛況でした。

同じように人気だったのは「リサイクル自転車販売」。今年は141人の申し込みがあり、最高倍率は25倍。当選した人のうれしさが、抽選を見守る人にも伝わっていました。



物産販売では、農業資源活用生産組合と檜原村が出展しました。農業資源活用生産組合は、学校給食などの生ごみから作った堆肥で育てた野菜を販売。檜原村は特産のじゃがいも、「ルバーブ」という野菜で作ったジャムなどをPRして、たくさんの人を集めていました。

「自転車シミュレーター」もすつかり定着したようで列が途切れません。「清掃車を操作してみよう」「間伐材でコースターを作ろう」「江戸バスの運転席に座ってみよう」などの体験イベントの数々は、子どもたちにとって貴重な体験になったようです。保健所内では、環境情報センターとその登録団体が出展しました。子どもが心配顔で訪れる「おもちゃの病院」、お母さんたちが真剣に取り組む「アクリルたわしづくり」、水の浄化の様子を楽しめる「水道キャラバン」など、趣向を凝らしたコーナーはいつまでもにぎわっていました。

各イベントコーナーでスタンプを集めると景品がもらえるスタンプラリーは「エコまつり」の定番イベントとなりました。今回も、さまざまな遊びや体験を通じて、子どもも大人も環境への関心を高めたり、楽しく学んでいただけたのではないのでしょうか。

●問い合わせ先
環境推進課 環境活動係
☎(3546) 5654

クリーンデー

区では、平成3年から5月30日(ごみゼロの日)に近い日曜日に、区民や事業者などの皆様のご協力区内の一斉清掃「クリーンデー」を実施しています。26回目となる今年5月29日(日)を中心に、287団体18,595人のご参加をいただきました。今回は、月島二之部町会の皆さんの活動をご紹介します。

第1回から参加しています!!

月島二之部町会



午前9時、町会事務所前に30人ほどの参加者の皆さんが集まりました。保田清町会長が「きれいな町づくりをよろしく願います」と挨拶したあと、箒、ちり取り、ごみ袋などを手に、4人一組で町に広がり始めました。

今回、初めて参加した方は「道がきれいになるのは、やっぱり気持ちいいね」と話してくれました。

お子さんを連れて参加したお父さんは「まだ小さいから心配だったのですが、一緒によく歩いてくれました」とにっこり。もんじゃストリートを担当していた方はマシオン住まい。「普段マンションの住民は地元の方とコミュニケーションしにくいのですが、こういう機会を活用して多くの方たちと触れ合えればと思って参加しています」。

保田町会長は「町を掃除しながら、お年寄りや子どもにもちよつと声を掛けてあげられる。これもクリーンデーのいいところだと思います」。

昔から住民同士のコミュニケーションの深い町ですが、世代交代が進んで現在は二代目、三代目の時代。クリーンデー活動の中心となる婦人部の平均年齢は30代だとか。活気のあるクリーンデーでした。

●問い合わせ先
環境推進課 環境活動係
☎(3546) 5654

まちがどクリーンデー 参加募集中!

皆さんが日頃行っているような、自宅や会社周辺など身近な場所の清掃を毎月10日を中心に地域で一斉に行う「まちがどクリーンデー」を実施しています。今回は、東京都下水道局中部下水道事務所中央出張所の皆さんの活動をご紹介します。興味のある方は、区ホームページをご覧ください。(トップページ↓「まちがどクリーンデー」検索↓まちがどクリーンデー好評実施中)

すがすがしい気持ちがいっぱいですね。

東京都下水道局中部下水道事務所中央出張所



5月31日(火)の朝、島瀬俊之事務所長の掛け声で、まちがどクリーンデーのタスキをかけた職員が皆さんが事務所の玄関に集まり、午前9時過ぎから事務所前の歩道を元気よく掃除し始めました。仕事で事務所を離れることができない職員以外は全員が参加しました。「クリーンデーに参加したのは平成19年からです。道がきれいになるとすがすがしい気持ちになれます。お客様対応が仕事の私たちに、身だしなみにも通じるものがあるのではないのでしょうか」と島瀬事務所長。



歩道に面した部分には職員が手入れをしている花壇もあります。植えられた花を見て、季節を感じてくれる近隣の方々もいらつしやるそうです。クリーンデーだけでなく、毎月10日に実施しているまちがどクリーンデーにも参加しています。毎日数人で歩道の清掃も行っているそうです。歩道を使用する人や通学中の子どもたちに声を掛けるなど、地域とのコミュニケーションも欠かしません。息の合った、手際の良い作業を見せていただきました。

●問い合わせ先
環境推進課 環境活動係
☎(3546) 5654

水銀使用製品の拠点回収を始めました

区では、区内小学校などで毎週土曜日に行っている資源の拠点回収で、不用になった水銀体温計などの回収を平成28年4月より実施し、水銀使用製品の適正な回収に取り組んでいます。ぜひご利用ください。

○回収場所および回収日時
別表のとおり

○回収する品目
体温計・血圧計・温度計(水銀式のもの)

○回収方法
回収場所の係員に手渡ししてください。

○持ち込み上の注意
・ケースに入れるか新聞紙などで包んでから出してください。
・電子式のもの是对象外です。小型家電として回収箱へ入れてください。

・家庭から出たものに限りません。事業所から出たものは持ち込まないでください。

●問い合わせ先
中央清掃事務所 清掃事業係
☎(3562) 1523



小学校等の拠点回収		
京橋地域	日本橋地域	月島地域
毎週土曜日 午前9時30分～11時30分	毎週土曜日 午前9時～11時	毎週土曜日 午前10時～正午
城東小学校 泰明小学校 中央小学校 明石小学校 京橋築地小学校 明正小学校 銀座中学校	常盤小学校 日本橋小学校 有馬小学校 久松小学校 阪本小学校 日本橋中学校	佃島小学校 月島第一小学校 月島第二小学校 月島第三小学校 豊海小学校

※飲料用紙パック・食品用トレイ・布類・廃食用油・蛍光灯・乾電池・小型家電および園芸用土の回収も行っています。

地域のフリーマーケットを支援しています

4月23日(土)に「育てる芝生」イクシバープロジェクト主催の「緑の中央区へー区民フリーマーケット」が月島第二児童公園で、4月24日(日)に「箱崎睦会」主催の「東日本大震災復興支援チャリティーフリーマーケットin箱崎公園」が箱崎公園で開催され、多くの方々にぎわいました。

区では、不用品の活用およびごみの減量化を促進するため、地域が主催するフリーマーケット情報を区のおしらせやホームページに掲載し、支援しています。今後も区内のフリーマーケットを支援していく予定です。

皆さんも資源の有効活用に取り組んでみませんか。



●問い合わせ先
環境推進課 環境活動係
(3546) 5654



中央区の森だより

区では、平成18年度から東京都西多摩郡檜原村数馬地区において、広域的な地球温暖化対策として、CO₂を吸収する森林を荒廃から守り・育てるため「中央区の森」事業を進めています。

「中央区の森」の近況を紹介します。

どんぐりの苗木を育てています！

区では、檜原村産のどんぐりから発芽した苗木を区内の小中学校に預け、児童生徒の皆さんに育てていただき、「中央区の森」に植樹する事業を平成23年度から実施しています。

平成26年9月に11校(泰明小・明石小・京橋築地小・常盤小・日本橋小・有馬小・阪本小・月島第一小・銀座中・佃中・日本橋中)に預けた10cm程度の苗木は、約2年の間に、大きいもので1mほどの高さまで育ちました。

児童生徒の皆さんに育てていただいた苗木は、5月28日(土)、「中央区の森(数馬地区)」で森林保全活動を行った新日本コンピュータマネジメント株式会社社員の皆さまにより植樹されました。

本年度も、平成27年度採集のどんぐりから発芽した苗木を児童生徒の皆さんに育てていただく予定です。



花が見られる森づくり

「中央区の森(数馬地区)」を訪れた方に、かれないな草花を楽しんでいただくため、3月に地元NPO法人里山再生塾の手により、花苗の植栽が行われました。

花苗は、中央区、公募委員および檜原村で構成する「中央区の森環境ふれあい村推進協議会」で検討し、生態系への配慮から数馬地区産のものを選定しました。

檜原村の花「ヤマブキ」や、初夏に大きな釣鐘状の花を咲かせる「ホタルブクロ」など、植えられた6種類の草花は、森の新たな見所となることでしょう。

●問い合わせ先
環境推進課 環境活動係
(3546) 5654

花が見られる森づくり植栽種



ヤマブキ

4月に鮮やかな黄色の花を咲かせます。高さ1~2mまで成長します。檜原村の花に指定されています。



ホタルブクロ

6~7月に釣鐘状の花を咲かせます。袋のような花にホタルを入れて遊んだことから名前がついたという説があります。



ハンショウツル

山地の林縁や林内に生息し、ほかの木や草に絡みついて育ちます。5~6月に花を咲かせます。



ムラサキシキブ

6~7月に小さな房状の花を咲かせます。秋には美しい紫色の果実を楽しむことができます。高さ3mまで成長します。



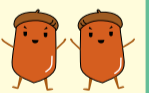
キバナアキギリ

8~10月にくちびる形の黄色い花を咲かせます。山の木陰に生育します。



ダイコンソウ

6~8月に黄色い花を咲かせます。根元から生える葉がダイコンに似ていることから、名前が付けました。



檜原村訪問ガイドブック「ブラひの」を作りました

中央区森の応援団活動報告

中央区森の応援団は、区民が檜原村での交流を通じて自然環境とふれあう機会を作ることや、間伐材を区内で有効活用することなどを目指し、活動しています。

このたび、区内の町会など、団体単位で檜原村を訪れてもらうことを目的に、ガイドブック「ブラひの」をはじめの檜原村「ブラブラあるき」を発行しました。

作成にあたっては、平成26年に団体のツアー企画者を対象に実施した視察ツアーでの気付きや、町会・事業所に向けたアンケートでいただいた意見を参考にしました。また、何度も村に出かけ、区民が訪問する際に役立つ情報を集めました。

檜原村のことを知らない団体にも村の良さが伝わり、一組でも多くの団体がツアーの訪問先に選んでくれることを願っています。

檜原村の概要、中央区からのアクセス、見所などの紹介のほか、自然体験や文化体験などをテーマとしたモデルコースも掲載しています。区のホームページでの閲覧・ダウンロードのほか、環境情報センターでもご覧いただけます。

中央区森の応援団では、訪問時のアドバイスや檜原村の各施設との連絡調整などのコーディネートを行っています。檜原村への訪問を企画する際には、中央区森の応援団事務局までお問い合わせください。

●問い合わせ先
中央区森の応援団事務局 中島 憲一
E-mail k.nakajima@chuo-m.net

